

解析事例：港湾・漁港等の堆砂対策検討解析

概要

- ・波浪変形モデルより現地波高分布を予測
- ・平面二次元モデルより現地流況変化（潮流・海浜流）を予測
- ・地形変化モデル（掃流砂・浮遊砂を選択）より、堆積状況を予測
- ・対策案（導流堤延長等）に対する効果（堆砂傾向の低減）を予測

条件

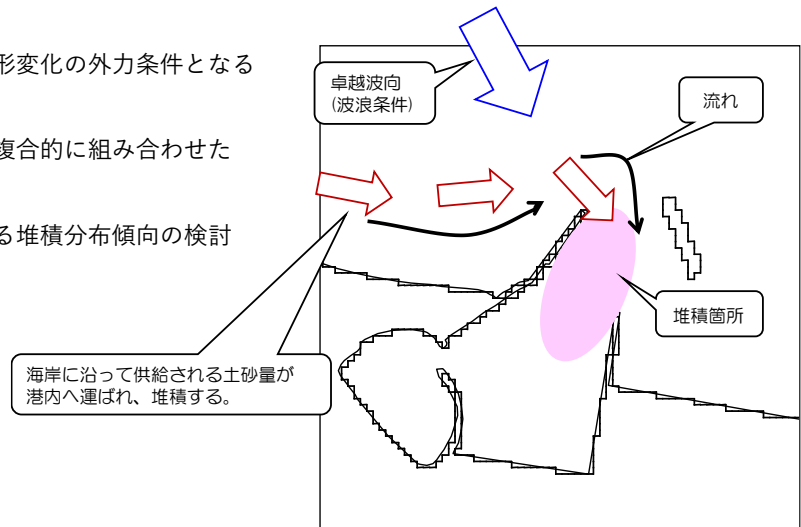
対象水域の深浅測量結果（対象年前後）、潮汐条件、波浪緒元（波高・周期）、現地粒度組成（代表粒径）、設置構造物の計画緒元など

解析

●堆砂メカニズムイメージ

堆砂要因を推定した上で、地形変化の外力条件となる波浪・流動を予測

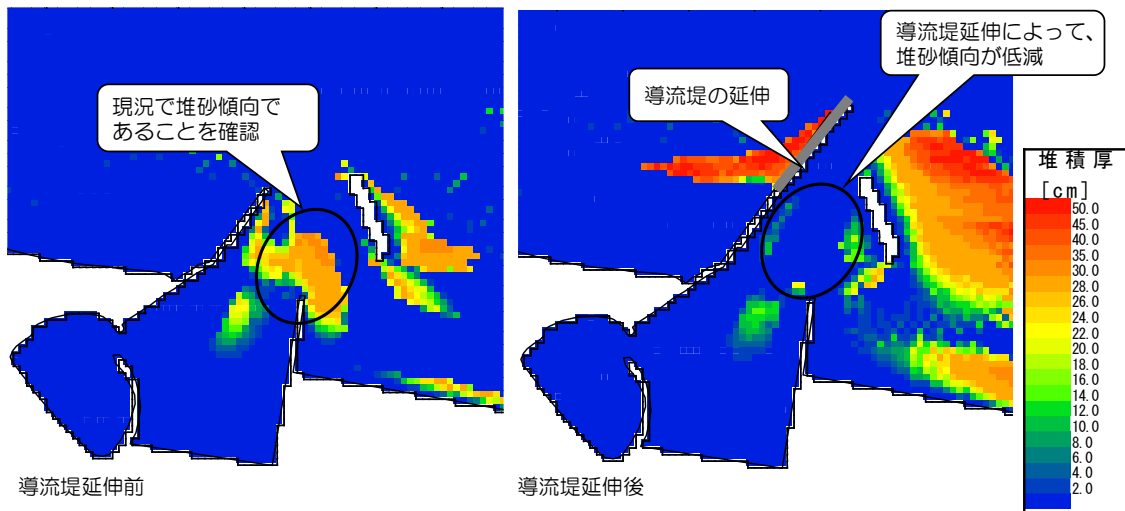
- ・流動場（海浜流や潮流）を複合的に組み合わせた検討が可能。
- ・現地測量結果との比較による堆積分布傾向の検討



●結果イメージ：堆砂シミュレーション

地形変化より港内の堆砂状況を予測

- ・対策前後の堆積分布より、対策案の効果検討の把握



事例

- 港内泊地等への維持管理浚渫検討
- 航路埋没対策検討